

2025 年度第 1 回一宮市総合教育会議 会議録

1 日時

2025 年 7 月 28 日（月）16 時 00 分から 17 時 10 分まで

2 会場

一宮市役所 本庁舎 6 階 特別会議室

3 出席者

市長 中野 正康
教育長 高橋 信哉
教育委員（教育長職務代理者） 高橋 富貴子
教育委員 青山 裕美
教育委員 川松 久芳
教育委員 武藤 匡宏
教育委員 吉田 亜希子
教育委員 大島 清司

4 事務局（9 名）

戸谷行政課長、青井行政課専任課長、小島行政課主査
森教育部長、平野教育部次長、谷口教育部総務課長、尾関学校教育課長、小栗教育部総務課専任課長、伊藤教育部総務課専任課長

5 傍聴者

なし

6 議題

（1） 一宮市教育大綱について

7 報告事項（非公開）

（1） 小・中学校の屋内運動場の空調設備について
（2） シン学校プロジェクトの進捗について

※会議の内容は次項のとおりです。

事務局（行政課長）

本日はお忙しい中お集まりいただきまして誠にありがとうございます。ただ今から一宮市総合教育会議を開催させていただきます。本日は、傍聴希望者はございませんでしたので、ご報告いたします。

本日の会議は、議題については公開、報告事項については、一宮市総合教育会議の設置に関する要綱第 6 条及び一宮市審議会等に係る会議の公開に関する要綱第 3 条第 2 号によりまして、非公開で開催させていただきますのでよろしくお願いいたします。それでは、会議に先立ちまして、市長からごあいさつを申し上げます。

市長

教育委員の皆様におかれましては暑い中お集まりいただきありがとうございます。

今日の教育大綱、その後のシン学校プロジェクトとエアコンの話は重要なテーマです。報告事項という体裁は取っておりますが、非公開にし、委員の皆様におかれましては、自由闊達なご意見をよろしくお願いします。

事務局（行政課長）

ありがとうございました。それではここからは総合教育会議の設置に関する要綱第 4 条第 1 項によりまして、市長が議長となりますので、よろしくお願いいたします。

市長

まず始めに、「教育大綱」について、事務局から説明をお願いします。

事務局（教育部総務課長）

議題 1 「一宮市教育大綱について」説明させていただきます。説明後、審議をお願いしたいと思います。

資料②「一宮市教育大綱について」をお願いします。

教育大綱とは、地方公共団体の長が、法律により定めるもので、一宮市の教育大綱は、子どもへの教育がすべての人の教育につながっていくことに着目し、生涯学習、学術研究を包括しながらも主たる対象者を「子ども」としたものになっています。

一宮市の教育大綱は、2017（平成 29）年 3 月に策定、2021（令和 3）年 4 月に一部改訂し、現在に至っていますが、現在の大綱は期間が令和 7 年度までとなっております。地方公共団体の長は、大綱を定め、又は変更しようとするときは、あらかじめ、総合教育会議において協議するものとなっていることから、今回、修正箇所を赤字にし、2026（令和 8）年度以降の大綱案をお示ししたものでございます。

前回の改訂時から委員の皆さんすべてが替わっていますので、教育大綱の構成、対象期間、これまでの経緯などについて事前にお目通しいただきました。前文では理念を、中段では 20 年先を見据えた目標を、実施方針ではおおむね 5 年間の総合的な施策の根本を示しています。

この 5 年の間にあった出来事として、国の GIGA スクール構想による一人一台端末環境の実現、中学生の新しい制服の導入などがあり、この先は、現在進めているシン学校プロジェクトや部活動の地域移行など、本市にとって大きな転換、大きな事業が控えています。20 年先を見据えた中期目標の折り返し時期でもありますので、大綱自体の大きな方針転換はせずに、次期 5 年間に向けて計画名などの修正を中心に改訂

しようと考えています。

「一宮市教育大綱について」の説明は以上でございます。

この改定案について、ご審議、よろしくお願いいたします。

市長

何が変わったかという点、日付の他に、既存の計画名も「デジタル田園都市構想総合戦略」などに修正されています。この5年間で大きなコロナ禍を経験して、デジタル教育という言葉がかなり広く周知されました。

デジタル化が大きく進み、そして中学生の制服もできれば地元の地場産業をとということで、この地域の伝統や産業を知るというところで、一歩進んだかと思っております。しかし、文言に関してはまだ変更が必要などころまでは至っていませんので、皆様ご意見がございましたら、お願いします。

委員

実施方針の2番目のところですが、「これまでの知識や資料から新たな価値を見出し」というのが何を指しているのかわかりません。この5年間でやってきたことだと、例えば具体的にはどのようなことが該当するのでしょうか。

市長

ご質問は、学校教育の場面に関するものでしょうか。10年前に私が市長になって驚きましたが、いろいろな統計データを取りますが、「結果こうでした。」という知識だけで終わっていたのです。

それをどのように改善していくのかという動きが全くなかったので、注意したことがあります。

委員

それは「改善」するということに「価値」があるということですか。

市長

我々市役所の場合ですと、地域、市民にとってどういう政策を打っていけばよりよくなるかを考える、そのための知恵を出し合うことです。

委員

では、その新しい政策のアイデアが「新しい価値」ということですか。

市長

そうですね、「結果アンケートを取ったらこうでした。」という形で終わっているものが多かったのもので、どこに、どのようにその取得したデータをもとに、アジェンダセッティングをするかですね。課題解決のためにどうしたらいいのかということ、みんな知恵を出し合うことが社会人としての仕事だと思っていたのですが、それが全く市役所には無かったので、変えていこうよと言ってきました。学校教育の場面ではどうでしょうか。

教育長

学校教育においても、中学生の制服の件は、同じことだと思っております。まずは学校が抱える問題を子どもたちが自分で考え、それに対しどの様に学校のルールを

変えるかということにチーム全員の考えが向かったのではないかと思います。また、GIGA スクールによって学校の授業が随分変わってきました。実施方針の1番目にある「個に応じたきめ細やかな指導を充実し、多様な学び」というのは、道具を用いて、どのような勉強の仕方をしていくのかということですが、学び方そのものが変わってきている、また変えていかなければいけないと思っています。現場としてもそういう方向性をもって進まなければいけないし、知恵を出し合っていく、子どもたちにもそういう知恵を身につけてもらいたいと思っているのですが、学校教育課長さんどうでしょうか。

事務局（学校教育課長）

制服の決め方もそれぞれ生徒が知恵を出し合っていることにとどまらず、制服も含めた着こなし方とか、生活のルールを各学校の中で制服の変更に合わせて議論をするきっかけになっています。制服が変わったことに伴い、実際に校則も随分と変わってきています。これは新しい価値を見い出して、社会の変化、生活基盤の知恵を育んでいるということに繋がっているのかなと思います。

授業等についても、タブレット端末が導入されたことによって、これまでの一斉型の授業から、個別も含めた複線型の授業への展開を目指しています。まだまだ一斉型の授業が多いのが現状ですが、子どもたちそれぞれが知恵を出し合って課題を解決していく、探求していくというような授業も取り入れていかなければいけないところがあります。そういった意味では、学習内容も新しい価値を目指しつつあるところです。

市長

過去はこうでしたと漫然と見るのではなく、そこから何か今の新しい時代、社会の変化に寄与する、こういう風にしたらもっとよくなるのではないかと、そのような知恵を考えてもらいたいと思います。私は、世の中に出たら絶対こういうことは大事だと思うので、この2番目の項目には違和感はないのですが、いかがですか。

委員

新たな価値を見い出しというのは、教え方とか学び方などといったところをイメージすればいいですか。

事務局（学校教育課長）

そこも含めて教え方というのも学校の教育活動の1つですが、先ほど申し上げた生活の仕方や、将来に対しての自分自身の考え方、キャリア教育ということもこの5年間で随分進んできたのではないかと思います。

教育長

そのあたりが、今まさに学校が求められている学習の形という風に私の中では思っています。よく探求型の学習を見ていて、今回の「シン学校プロジェクト」で学校での学習の在りようを変えましょうという話を学校でよくしています。要は、入ってくる様々な情報を使って、自分の課題を見つけて、自ら考えてそれを自分のものにしていきましょうという授業を目指していますので、まさにこれが授業の目指す方向でもあるのかなと理解しております。

委員

これまでの知識や資料から作り上げているわけではなく、新しい考え方を取り入れ

ているという様に理解すればいいですか。新たな価値をというのは、これまでの中から生まれるのでしょうか。新しい考えを取り入れたから新しい価値が生まれたのではないかと思うのですが。

市長

そうですね。過去の知識や資料からでも、その中に新たな価値を見い出せるように、知恵を育んでいけるといいなと、子どもたちものびのびと成長できるのではないかという、そんな希望が込められているのではないかというところです。

委員

冒頭の説明で、GIGA スクール構想や中学生の新しい制服、部活動の地域移行などこの5年間でいろいろなことがあって、それを考慮して今回の見直しという説明でしたが、今、挙げられたこれらのことは結構大きな変化だと思います。それぞれにおいてこの5年の間にあった変化が実施方針のどの部分に該当するのか、あるいは、どこかに該当するけれども実施方針の理解をより深めるために、今回この議題があるのか、資料では分からないので、この5年にあったことをどのように照らし合わせるのか説明してください。

事務局（教育部総務課長）

GIGA スクールに関して言いますと、5番目の「生涯学べるように、ソフトとハードの両面を整えます」というところに当てはまるかと思っております。制服に関しては、お話がありましたとおり実施方針の2番目に当てはまっております。制服の生地につきましては、「さまざまな考えや文化を理解する」という意味で、こちらは4番目にも当てはまるかと思えます。また、シン学校プロジェクトに関しては、5番目に当てはまります。それぞれ大きな事柄がありましたが、それぞれが実施方針の中に当てはまる事柄かと思えますので、実施方針の大きな変更はなくて良いかと考えております。

委員

実施方針ですから、それを念頭にいろいろ行ってきた結果、その事柄が出てきたということですが、そのあたりについてどのように意識して決めましたか。

事務局（教育部総務課長）

GIGA スクールであるとか、部活動の地域移行に関しては国の方針なので、我々の実施方針で何か事業を起こしたということはありませんが、実施方針から大きく外れた事業ではないものと理解しております。

制服とかシン学校プロジェクトは、我々の方で進めてきた事業になります。それに関しては、教育大綱に沿って大きな方針として考えて進めてきたところでございます。

委員

ありがとうございます。

市長

大綱のこの文章は、学校の先生の中で何人くらいの方が読んだことあるのかと思いますが、そのあたりはどうでしょうか。

教育長

教育大綱を基に学校教育推進プランは具体的な取り組みを示し、各学校の経営方針も教育大綱の目標を基に設定されています。学校教育推進会議の中でも、教育大綱、学校教育推進プラン、学校経営方針に関しましては、これら3つは密接につながっていないといけないと委員の皆様からご指摘をいただきました。これを意識しながらいろいろな会議で検討を重ねて推進プランや経営方針ができましたので、これら3つはつながっているものと考えます。

教育大綱の中身まで覚えているかという疑問ではありますが、つながっているということは認識されていると思います。

委員

実際に学校の先生が現在の教育大綱を読んで、この5年間に何かご意見があったりしましたか。

事務局（学校教育課長）

学校現場としては、この教育大綱と学校教育推進プランを、一宮市の小中学校の学校教育の根幹となるものと考えています。毎年学校教育推進プランを改訂して教職員に配布する中で、これが教育大綱から来ているものであるというお話は学校にもさせていただいています。その推進プランを受けて各学校の方針がありますので、教育大綱そのものについてご意見を学校現場からいただくことはありませんが、各学校の経営方針や学校教育推進プランについては、毎年評価を行ったりご意見を伺いながら改訂させていただいております。

大綱につきましては、あくまで方針という全体の考え方ですので、考え方について大きな方向性としては間違っていないと考えます。また、この先の5年間を見た時でも、大きくこの方針が変わっていくことはないと思います。

教育長

実施方針についてアンケートを取るなどは、手法としては行っていないですが、「個に応じたきめ細やかな指導」ということでいいますと、推進プランでは分かるべき身につく授業をしていますかということをアンケートとして取っています。

評価としては、毎年子どもたちに授業がよくわかるかというような評価をしており、全国学力学習状況調査においては、学校の国語の授業がよくわかる、算数の授業がよくわかる、理科の授業がよくわかる、今回はその3つの教科で評価をしています。細かな取り組みに対しての評価は、毎年していますので、直接的にこれについてどうこうとはしていませんが、必ず評価をしながら、取り組みについて見直しをしているということをご理解いただきたいと思います。

市長

教育大綱にある実施方針の文章を基にして、できれば各学校の経営方針については、それぞれ各学校の現場で意見交換をしていただきたいと思いますね。

教育長

学校評価というものについて、学校ごとに評価指標を決めて学校ごとに毎回評価しています。それには保護者の皆様にアンケートを取っており、こうした方法で事業評価をしています。

市長

様々なご意見をいただきありがとうございました。教育大綱につきましては、原案どおりで進めさせていただきます。よろしくお願いします。